

山本岩夫教授 略歴・研究業績

学歴・職歴

- 1963年 3月 東京教育大学文学部文学科卒業
1963年 4月 京都府立桂高等学校教諭
1965年 4月 京都教育大学附属高等学校教諭
1970年 4月 立命館大学法学部助教授
1976年 4月 立命館大学法学部教授

学内役職歴

- 1975年 4月 二部学生主事（～1976年 3月・1年）
1984年 4月 外国語教育連絡協議会委員長（～1985年 3月・1年）
1992年 4月 外国語教育センター長（～1993年 3月・1年）

学会

- 日本移民学会（運営委員1991 - 2001、会長2002 - ）
日本アメリカ文学会

編著書

- 1.（共著）『ヨーロッパ現代文学を読む』1985年11月．有斐閣．
- 2.（共編著）『日系アメリカ文学雑誌集成』全22巻、別冊1．1997年6月 - 1998年12月．不二出版．
- 3.（共編著）『戦後日系カナダ人の社会と文化』（立命館大学日系文化研究会 [代表：山本岩夫] 編）2003年7月．不二出版．
- 4.（共編著）『日系文化の現在』近刊．人文書院．

論文

1. 「Controlled Composition, その有効性と方法論に関する実践研究」
1969年3月. 「京都教育大学附属高等学校研究紀要」No.6, 41-52.
2. 「リチャード・チェイスと神話批評」1973年3月. 『立命館法学』別冊『外国文学論集』(立命館大学法学部), 25-47.
3. 「Miss Lonely Heartsのアイロニカルな世界」1974年1月. 『英語研究』1974年1月号(研究社), 56-57.
4. 「神話の崩壊 J.C. Oates の'By the River'について」1976年7月.
『外国文学研究』No.37(立命館大学人文科学研究所), 25-47.
5. 「二重意識としての軍隊 James Jones, *From Here to Eternity*について」1977年12月. 『英語教育』1977年12月号(大修館), 30-31.
6. 「もう一つのヒーロー Joseph Heller の *Something Happened*について」1979年3月. 『日下部徳次教授退官記念論文集』(京都教育大学英文科), 249-256.
7. 「転換の構造 コジンスキーの『異端の鳥』について」1981年12月.
『外国文学研究』No.52・53合併号(立命館大学人文科学研究所)
8. 「よりよい共同授業を求めて 分割授業の試み」(共著)1986年7月.
『外国文学研究』No.72(立命館大学人文科学研究所), 123-170.
9. 「日系アメリカ文学とヒサエ・ヤマモト」1987年9月. 『汎』No.6
(PMC出版), 146-153.
10. 「アメリカに生きる日系文学 詩人そして文学の『指揮者』ドクター・ヤスオ・ササキ」1988年7月. 『海外移住』No.483(国際協力事業団), 7-10.
11. 「日系アメリカ文学と太平洋戦争(1)」1991年10月. 『短篇・掌篇の世界』17号(短篇・掌篇の世界社), 3-5.
12. 「日系アメリカ文学と太平洋戦争(2)」1991年12月. 『短編・掌篇の世界』19号(短編・掌篇の世界社), 3-5.

13. 「日系アメリカ文学と太平洋戦争(3)」1992年2月。『短編・掌篇の世界』21号(短編・掌篇の世界社), 3-7.
14. 「ペルーからアメリカの日系人強制収容所へ 西茂樹の文学」1993年3月。『立命館言語文化研究』第4巻第6号(立命館大学国際言語文化研究所), 1-30.
15. 「翁久允と『移民地文芸』論」1994年2月。『立命館言語文化研究』第5巻第5・6合併号(立命館大学国際言語文化研究所), 11-42.
16. 「大学一回路必修英語における多読授業の実践 *SRA Reading Laboratory*を利用して」(共著)1995年7月。『立命館教育科学研究』第6号(立命館大学教育科学研究所), 141-152.
17. 「1994年度『法学部英語副専攻』の受講者像」1996年7月。『立命館教育科学研究』第8号(立命館大学教育科学研究所), 133-135.
18. 「法学部英語副専攻実践報告 「社会・文化」」1996年7月。『立命館教育科学研究』第8号(立命館大学教育科学研究所), 157-161.
19. 「幻の文芸誌『收穫』」1997年6月。『日系アメリカ文学雑誌集成・收穫』(不二出版), 5-20.
20. 「詩歌とエッセイの文芸誌『ハートマウンテン文藝』」1997年10月。『日系アメリカ文学雑誌集成・ハートマウンテン文藝』(不二出版), 5-21.
21. 「ためらいはなく トシオ・モリの文学における日本とアメリカ」1998年2月。『立命館言語文化研究』第9巻第4号(立命館大学国際言語文化研究所), 177-190.
22. 「1998年度法学部1回路英語科目における実践報告」2000年2月。『立命館教育科学研究』第15号(立命館大学教育科学研究所), 52-57.
23. 「アメリカ東海岸唯一の文芸誌『NY文藝』」1998年12月。『日系アメリカ文学雑誌集成・NY文藝』(不二出版), 1-22.
24. (共著)『日系アメリカ文学雑誌研究 日本語雑誌を中心に』1998

年12月・不二出版．

- 25．「越境する演劇活動 日系三世ロバート・ウノの世界」2002年9月．ハルミ・ベフ編『日系アメリカ人の歩みと現在』（人文書院），175-204．
- 26．「再定住期の日系カナダ文学 *The New Canadian*を通して」2003年7月．立命館大学日系文化研究会編・著『戦後日系カナダ人の社会と文化』（不二出版），157-177．
- 27．「短編小説『パスロープの女』を巡る論争 1930年代における日系アメリカ文学」2004年3月．立命館大学法学会『ことばとそのひろがり（2） 川上勉教授退職記念論集』（立命館大学法学会），339-358．

翻訳

- 1．ヒサエ・ヤマモト「十七文字」1987年9月．『汎』No.6（PMC出版），132-145．
- 2．ヒサエ・ヤマモト「日系アメリカ文学 その歴史と展望」1987年10月8日．『朝日新聞』（夕刊）（東京本社），5．
- 3．デイビッド・マスモト「西方の寺」1989年9月．『汎』No.14（PMC出版），77-89．
- 4．ロバート・ウノ「カブキ俳優カタオカ・コウジロウさんを訪ねて」1996年7月．『墨染会「瓦版」』第10号（墨染会事務局），4．

エッセイ・インタビュー

- 1．「ヒサエ・ヤマモト・デソトを読む」1987年4月．『りべるたす』創刊号（りべるたすの会），51-52，61．
- 2．創作「春」1988年1月1日．『シカゴ新報』（シカゴ新報社、シカゴ、アメリカ）新年号付録（ ）10．
- 3．「日系アメリカ人作家ヒサエ・ヤマモトさんを訪ねて」1989年6月．『立命館学園広報』第209号（立命館）．

4. 「日系三世作家D・マス・マズモト氏に聞く」(インタビュー) 1989年9月. 『汎』No.14 (PMC出版), 90-95.
5. 「アジア系アメリカ文学の『今』」1989年9月30日. 『朝日新聞』(夕刊)(朝日新聞大阪本社).
6. 「翁久允の未発表原稿と資料」1990年6月. 『Unitas』第220号(立命館).
7. 「共同研究・翁久允: 日系文学の視点から」1990年7月4日. 『北日本新聞』(北日本新聞社).
8. 「マイクロフィルム室の日系新聞」1994年9月. 『立命館大学共同研究事務室ニューズレター』第1巻1号(通巻1号)(立命館大学).
9. “Shinto Endowed Chair Has Potential to Do Great Things.” *Santa Barbara News-Press*, November 24, 1997, A8.
10. 「日系アメリカ文学との出会い 同人文芸誌『平成』に期待するもの」1998年6月. 『平成』第31号(平成社、カリフォルニア). 20-28.
11. 「歴史の中から掘り起こす 『日系アメリカ文学雑誌集成』について」1999年12月/2000年1月. 『日系の声』(日系の声、トロント、カナダ), Vol.13, No.10, 17.
12. 「越境する演劇活動 日系アメリカ人三世口バータ・ウノの世界」2000年4月13日. 『読売新聞』(夕刊)(読売新聞大阪本社), 7.
13. 「北米日系社会の動向に注目」2000年10月. 『日系の声』(日系の声、トロント、カナダ), Vol.14, No.8, 15.

書評

1. 「ロバート・ボーン 『アメリカの黒人小説』」1972年. 『黒人研究』No. 43(黒人研究会), 11-12.

学会発表

1. 「高等学校における英文法・英作文の授業について」京都府立高等学校英語教育研究会例会，1969年5月。
2. 「亡命作家の見たアメリカの黒人たち J. コジンスキーの場合」黒人研究の会全国大会，1983年6月25日。
3. 「帰米文学：『NY文芸』の場合」日本移民学会第1回大会，1991年10月27日。

その他

1. *Six Short Stories by Japanese American Writers* (共同編集と注釈) 1992年。鶴見書店。
2. (共著)「翁久允所蔵資料目録」1994年2月。『立命館言語文化研究』第5巻第5・6合併号(立命館大学国際言語文化研究所)，151-349。
3. (共著)「翁久允関係書簡補遺」1995年9月。『立命館言語文化研究』第7巻第1号(立命館大学国際言語文化研究所)。41-48。
4. 「ヒサエ・ヤマモト作品目録(1)」1996年3月。『立命館言語文化研究』第7巻第5・6合併号(立命館大学国際言語文化研究所)。195-244。
5. 「ヒサエ・ヤマモト作品目録(2)」1996年12月。『立命館言語文化研究』第8巻第2号(立命館大学国際言語文化研究所)。167-176。